

残りの者
シャーアル

石巻祈りの家NEWS LETTER 「シャーアル」(94号)
986-0801 宮城県石巻市水明北3丁目13番28号
TEL /0225-96-1497 Email/ hjm-ja2@yg8.so-net.ne.jp
振替口座 02290-6-126186 口座名称 阿部 一
●代表/阿部 一 ●副代表/菊池せい子

信仰: 神の望まれること

● 主の2016年、明けましておめでとうございます。

震災4年目の昨年1年間も、皆さんの熱き祈りと多くの捧げ物によって、私たち小さな群が「祈りの家」としての活動と被災者に寄り添う支援活動とを、共に支えていただきましたことを心から感謝申し上げます。

● 想定外の甚大な災害であったために、被災地の復興にはまだまだ時間がかかります。しかし、復興住宅も少しずつ完成し、仮設から被災者家族も移り始めました。

● 行政では、仮設に残る割合が30%に達した所から仮設住宅を集約するという方針を打ち出しています。被災者の中には、又新たな試練を迎える家族も出るようになります。

● この時間経過の中で、私たちも新たな活動の選択が求められる時期に来ていると考えています。そして、この新しい年の初め、群の設立の初心に戻って神の前に立ち、何が神が望まれていることかを、祈りの中で思い巡らしました。

● 旧約、新約時代も、現在も、神が私たちに求めておられることは、何かすること(Doing)が第一のことではなく、ただ一つ神に対して「誠実であること(Being)」だと教えられます。

● 「わたしは誠実を喜ぶが、いけにえは喜ばない。」(ホセア6/6他)、「律法の中ではるかに重要なもの、すなわち正義とあわれみと誠実を」(マタイ23/23)の「誠実 faithfulness)は、真心(devotion)を尽くす「誠意(sincerity)」であり、それは聖書では言行一致での神への信仰を表します。

● 私たち一人一人は、いつも、そして特に今、神が真の信仰を求めている時代に生きています。教会という枠の中で、定例集会によく出席しているとか、奉仕活動に熱心だとの他人の評価ではなく、私たち個人がキリストの巖の上にならばしっかりと立って(uprightness)生活しているかの信仰が問われていると思います。

● 「誠実」は神のご性格であり(申命記7/9)、御霊の実(ガラテヤ5/22)でもあることを考えるときに、私たちは自分がそれに欠ける者であることを認めざるを得ません。

● その値しない者が、神の憐れみによって愛されている事実を、へりくだり、感謝を持って受け入れるときに、聖霊がこの誠実への助け手として私たちを導きます。

● 神への「誠実」を、一人一人が真に願って歩むときに、神は私たちが力量に応じて組み合わせ、キリストの体なる愛が溢れる教会を建て上げて下さると約束されています。

● このことは、先ずこの私に神が求めておられることだと新たな心で受け止めて、新年の第一歩を踏み出したいと思えます。皆さんの上に神の豊かな祝福が注がれる1年となりますように祈ります。

■ 先月の多くの恵みから

① 12/20のクリスマス礼拝は、例年と同じく石巻山城町教会(関川祐一郎師)で合同礼拝とさせて頂きました。聖餐の恵みに預かると共に、「すき焼き」でのクリスマス祝会もご一緒させて頂いて主のご降誕を祝いました。

② 12/3に、鈴木 真師の遺志を継いで福音伝道教団の「イザヤ58ネット」が仮設を訪問してくださいました。震災後、定期的に訪問下さるので被災者もいつも楽しみに待ち、今回は仮設を出た3家族も出席してくれました。

③ 12/17に、ゴスペルのシンガーソングライター森繁 昇さんが来石され、登米市南方イオン跡仮設団地(中澤竜生師)と



お茶っこハウス(趙詠相師)でのコンサートのコーディネイト奉仕が出来ました。12/18には、被災地の大川小学校と女川を見て頂き、亘理町の亘理聖書キリスト教会(熊田康之師)までお送りし、コンサート後の交わりまで参加させて頂きました。

④ 皆さんにお願いしました仮設限定灯油献金はこの冬に月2回の灯油を継続支援できる見込みです。ご支援に心から感謝いたします。12/28でこの冬4回目の支援が出来ました。この4月半ばまで11回の支援をする予定です。

⑤ 12/22に、仮設入居者への生活消耗品支援として、5度目の仮設での正月を明るく迎えてもらうために、家族構成に応じて、正月用のお餅と餡・きな粉に加えて大阪の濱中さんから支援頂いた小豆の缶詰を支援いたしました。

⑥ 12/13に、「大阪雑巾を縫う会(栗谷信子代表)」より支援された雑巾(台拭き)1,500枚を、市の社会福祉協議会とも相談して、新蛇田復興住宅に入居された方々に支援いたしました。

⑦ 12/17に、福音伝道教団本庄キリスト教会より、震災後毎年地元の2つの保育所の園児へ継続して下さっている豪華なクリスマス・プレゼント(160名分)を今年も支援いたしました。感謝!

⑧ 12/23に、仮設で今年も「キルト手芸展&クリスマス会」を開くことが出来ました。大阪雑巾を縫う会、本庄キリスト教会、アサフよりクリスマス・プレゼントの支援をいただきました。

⑨ 12月も、多くの方々から沢山のクリスマスカード、手紙CD、献金、さらに美味しい菓子や果物をもって励まして頂き感謝します。すべてを紹介できず申し訳ありません。

■ 今月、次の課題を祈っていただければ幸いです。

- ① 求道者が起こされるように。群れの新しい歩みのために。
- ② 5度目の寒い冬を仮設で過ごしている被災者のために。
- ③ 石巻での第2回「3.11宮城三陸震災追悼記念会」の準備のために。

群の定期集会	
・礼拝(毎週日曜日)	10:00-11:30
・祈り会(毎週水曜日)	10:00-11:30
・聖書を読む会(第1火曜日)	10:30-12:00
・ほっと・Time(第3火曜日)	10:30-12:00
・コーラス「花」(第2,4木曜日)	13:30-15:00
・キルトを縫う会(第2,4月曜日)	10:00-12:00
・学習支援(地域の子どもの要望に応じて応援/木・土)	


信仰を詠う

1月 祈りの家 風景

花言葉「深い愛」とう ユキノシタ
春菊挿して 姉妹卓上に。

聖夜歌う かたえに ひそとユキノシタ
つましく揺れて 恵みに浸る。

ひとときがサロンに移る ほっとタイム
DVD鑑賞 龍(五嶋)さんのバイオリン



阿部 八重子
教会菜園に二株ほど残った鮮やかな緑の春菊と薄ピンク色のヒマラヤユキノシタがちいさな花瓶に活けられ卓上に。師走の中の祈りの家のひとこま。